

工事広報

えんてい 令和6～7年度 八幡平山系赤倉沢第1砂防堰堤工事

日ごとに陽射しも強くなり、いよいよ本格的な夏がやってきました。当工事現場では、熱中症対策として工事現場へのテントの設営、熱中症計の設置、いつでも水分補給ができるよう保冷庫の中に水、お茶、スポーツドリンクを常備しています。また、各作業員はヘルメットに取り付けられる日除けバイザー、空調服、暑熱リスク算出バンドを身に付け作業に取り組んでいます。皆様も暑さ対策をし体調を崩されませんよう健康管理には十分にお気をつけください。

さて、赤倉沢第1砂防堰堤工事は先月に引き続きICT建機による掘削作業、ロックボルトの挿入やモルタル吹付け等の作業を行っています。新たな作業として鋼製堰堤工の施工を開始し、コンクリート堰堤本体の水通し部に格子型の鋼製スリット（鋼管φ508）を組立て設置しているところです。

8月の作業は今月と同様、砂防土工、法面工、鋼製堰堤工の施工を予定しています。ダンプトラックやコンクリートミキサー車の通行予定はありませんが、重機や資材等の片付けのためトレーラやユニック車等の運搬車両が生活道路である県道194号を走行することがあります。道幅の狭い場所やカーブ等多い道路ですので安全運転に心掛け、ご迷惑の掛からぬよう努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

工事に関するお問い合わせは下記の連絡先でお受け致します。

砂防土工



法面工



鋼製堰堤工（左岸側）



- COMING SOON !**
- ⑨現場塗装
 - ⑩足場解体
 - ⑪鉄筋組立（2次施工）
 - ⑫型枠組立（2次施工）
 - ⑬コンクリート打設（2次施工）
 - ⑭コンクリート養生（2次施工）
 - ⑮施工完了

赤倉沢第1砂防堰堤で採用された鋼製スリット格子型2000C

- 縦材と横材を自由に配置でき、縦材は鉛直に配置されており、土石流先端部の巨礫群や流木群を効率的に捕捉できる。また横材は、後続流による土砂の再流出防止に特に有効。
- 柱材、水平材、斜梁等が剛構造で立体格子状に組み上げられているため、万一、一部の部材が破損しても土石流の荷重に対抗する構造となっている。
- 開口部の部材間隔を適切に配置することにより、保全対象直上流の最下流堰堤にも適用が可能である。
- 底版上面は河床勾配に合わせているため、地盤との間に落差が生じない、河床洗堀が発生しにくい構造となる。



暑熱リスク算出バンド

心拍情報から深部体温上昇変化を推定するアルゴリズムを応用

暑熱リスクを察知しLED表示と振動で通知

計測開始時	正常時	注意アラート時	警告アラート時

秋田～高山植物を巡る～ 駒ヶ岳に登ろう!!

夏になった駒ヶ岳には美しく綺麗な花が咲いています。今回はその一部をご紹介します!

①イワオトギリ

②チングルマ

③コバノイチヤクソウ

④こまくさ

①イワオトギリ…小さく可憐な黄色い花ですが、秋になると赤く色づき咲く花です。
 ②チングルマ…小岳に広がる花。落葉木で、紅葉も美しい。
 ③コバノイチヤクソウ…山林にひっそりと咲き、結ぶことなく冬を越します。
 ④こまくさ…皆さんも知っている花ですね!ご存知でしたか?正式な名前前はコマカサです。

登山される時には、怪我などに十分に注意してください。